

回											
覧											

丘珠空港ニュース

第2号（平成15年11月25日）
 お問合せは…
 札幌市企画調整局企画部企画課
 （土地利用・空港調整担当）
 電話：211-2192

○ 丘珠空港の今年度上半期の運航状況と利用状況

丘珠空港の定期便として(株)エアーニッポン（ANK）が運航してきたYS11型機が、今年5月末に全面退役しました。6月からはエアーニッポンネットワーク(株)（A-net）が低騒音のDHC8-300型機により、道内5路線13往復を運航しています。また、8月からは(株)北海道エアシステム（HAC）がSAAB340型機により、函館線2往復、釧路線1往復を運航しています。

平成15年度上半期（4月～9月）の利用者数は、ANK及びA-netが177,000人（前年同期比約9,500人増）、HACが約7,600人、合わせて約184,600人（前年同期比約17,000人増）でした。

同期間の搭乗率は、ANK及びA-netが67.9%（前年同期比4.0ポイント増）、HACが65.0%、2社平均は67.8%（前年同期比3.9ポイント増）でした。

なお、搭乗率が低迷していたA-netの紋別線は、10月から運休しています（紋別線の1往復分は函館線に振替わっています。）。

表1 平成15年度上半期の運航状況

路線	航空会社	1日当り運航便数（往復）					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
丘珠～稚内	A-net	2	2	2	2	2	2
丘珠～釧路	A-net	2	2	2	2	3	3
	HAC	—	—	—	—	1	1
丘珠～函館	ANK	3	3	—	—	—	—
	A-net	3	3	6	6	5	4
	HAC	—	—	—	—	2	2
丘珠～中標津	A-net	2	2	2	2	2	2
丘珠～紋別	A-net	1	1	1	1	1	1
丘珠～女満別	A-net	—	—	—	—	—	1
計	ANK/A-net	13	13	13	13	13	13
	HAC	—	—	—	—	3	3
	計	13	13	13	13	16	16

※使用機材：ANK：YS11(64席)

A-net：DHC8-300(56席)

HAC：SAAB340(36席)

表2 平成14,15年度上半期の利用状況の比較

航空会社		利用者数 (人)	搭乗率 (%)
ANK/A-net	H14年度上半期	167,483	63.9
	H15年度上半期	177,000	67.9
	前年度比	9,517	4.0
HAC	H14年度上半期	—	—
	H15年度上半期	7,604	65.0
	前年度比	7,604	65.0
計	H14年度上半期	167,483	63.9
	H15年度上半期	184,604	67.8
	前年度比	17,121	3.9

※航空会社の速報値による

○ 冬期間の減便について

丘珠空港の定期便は、今年8月から、A-net 13往復、HAC 3往復の計16往復が運航していますが、12月からは空港の除雪体制の都合により、A-net 1往復、HAC 1往復の計2往復が減便となり、A-net 12往復、HAC 2往復の計14往復で運航することになります。

なお、16年4月からは16往復の運航に戻る予定です。

表3 15年度の運航状況

路線	航空会社	1日当り運航便数(往復)		
		夏季	冬季	増減
丘珠～稚内	A-net	2	1	▲ 1
丘珠～釧路	A-net	3	3	
	HAC	1	1	
丘珠～函館	A-net	5	5	
	HAC	2	1	▲ 1
丘珠～中標津	A-net	2	2	
丘珠～紋別*	A-net	—	—	
丘珠～女満別	A-net	1	1	
計	A-net	13	12	▲ 1
	HAC	3	2	▲ 1
	計	16	14	▲ 2

夏季：15年8月～、冬季：12月～16年3月

※紋別線は10月から運休

○ 丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会

丘珠空港が地域と共存していくためには、空港と調和したまちづくりが必要であることから、札幌市では、平成11年3月に「丘珠空港周辺のまちづくり構想」を策定しています。

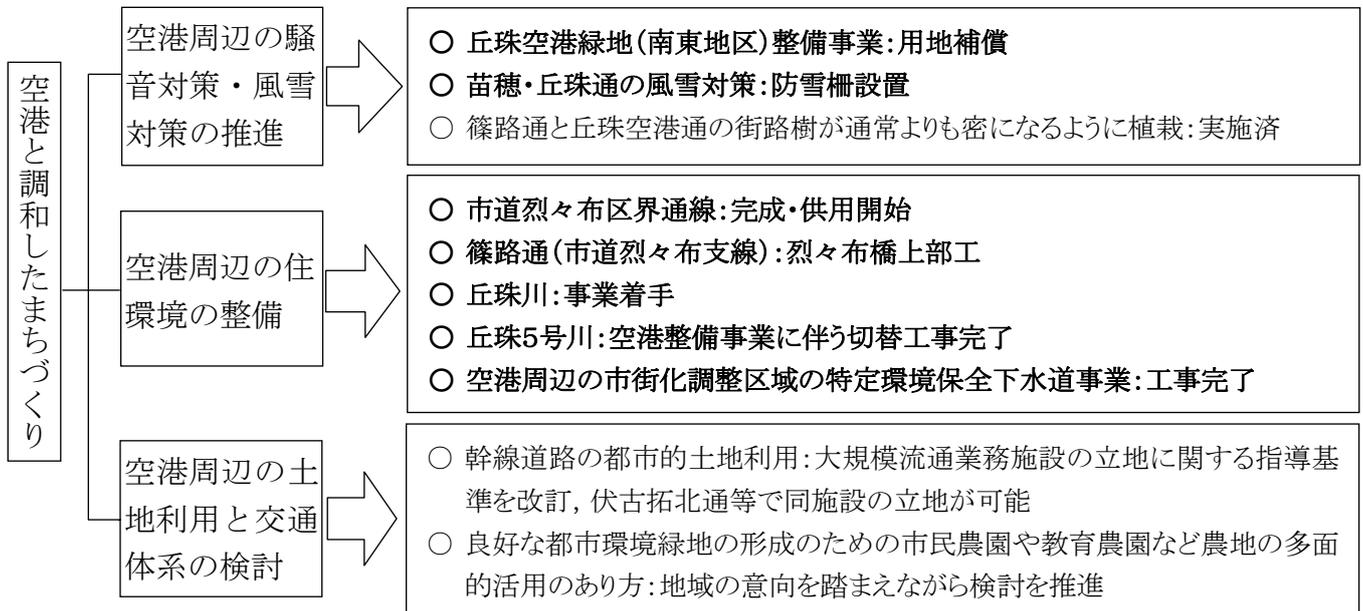
その具体化については、空港周辺地域の住民代表などの方々に構成する「丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会」での意見交換などを行いながら、取り組んでいます。

さる9月18日に、第10回丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会を開催し、札幌市から、丘珠空港周辺のまちづくり構想の取組み状況、丘珠空港緑地整備事業の進捗状況などを報告しました。

<まちづくりの課題>

<主な取組み>

(太字は14年度の取組み)



丘珠空港緑地整備事業の概要

- 目的：緑地整備事業は、空港周辺のまちづくりにおける基本課題として位置付けられ、航空機の地上騒音の軽減、排気ガスの拡散防止、安全の確保及び冬期間の風雪対策を目的としています。
- 全体構想面積：約55ha
- 南東地区の概要：全体構想は広大な面積であるため、その整備は段階的に進めていきます。平成13年度に滑走路延長方向の南東地区について、事業着手しています。
 - ・面積 約27ha、
 - ・事業スケジュール 平成13～21年度(予定)

